

新春  
対談

2020

## スポーツの力

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今回は、元サンフレッチェ広島監督で現サッカー日本代表監督兼U-23日本代表(23歳以下で構成・五輪代表世代)監督の森保一さんと松井市長が、昨年を振り返りながら、スポーツの力とスポーツがもたらす活気あるまちづくり、オリンピックへの思いなどを語り合いました。

## 日々の努力の積み重ねの先に、目標の達成がある

**市長** 森保さんは昨年、日本代表監督とU-22日本代表(※1)監督を兼任されて臨まれた1年でしたが、振り返っていかがでしたか？

**森保** どちらのチームも、海外の強豪チームと試合をするなどして充実した活動ができた1年だったと思います。もちろん私の体は一つしかないの、両方の監督を同時に務めるのは簡単ではありませんが、選手たちのレベルアップは確実にできたのではないかと思います。

**市長** 実戦を通して、チームとしても個人としても基礎固めができたということですね。それにしても、両方の監督を兼任するのはとても

大変だと思います。けれど、そうやって頑張ってやってきたことは必ず成果に表れるはず。努力して報われないことはありませんから。

**森保** ありがとうございます。すごく自信がつかます。試練や困難はあって当たり前だと思っっているのですが、その壁をしっかりと乗り越えながら、前に進んでいきたいと思っいます。

**市長** 日頃からの努力の積み重ねが結果につながりますからね。高い目標に向かって一気に行くのではなく、らせん階段を上がっていくように、ぐるぐると何回も繰り返しながら、時間をかけてでもしっかりと前進していく。そうすることで、初めて目標に到達するのだと思っいます。

**森保** 私もそう思っいて、チームのみんなには「目の前

のやるべきこと、やらなければならないことにしっかりと目を向けて、日々努力をして積み上げた先に、目標の達成がある」と言っています。市長の話聞いて、改めて、それだよっのだという確信が持てました。

## スポーツと平和をつなげるまちづくり

**市長** 森保さんはサンフレッチェ広島の選手と監督を長年務められ、また、小学生から高校生までの時期を、広島と同じ被爆都市である長崎で過ごされていますよね。そういっったことを踏まえ、広島への思いや平和への思いを聞かせていただけますか？

**森保** 市長が言われたとおり、私は今までの人生の多くを長崎と広島で過ごしており、いわば長崎生まれ広島育ちです。両市は世界でただ二つの被爆都市ですが、たくさんの方の絶え間ない努力があって、今の平和で豊かな「まち」があるのだと思っています。そのおかげで、今こうして自分の好きなことを

やって穏やかに生活ができるのだということをかみしめて、日々過ごさなければいけません。

広島と長崎に起きたことを伝えたり、平和について発信したりすることは、自分のこれまでの経験や立場を生かしてやっていきたいと思っています。オリンピックは、シンプルに言うところ「平和の祭典」だと思っっています。平和だからこそスポーツができるのだと。私たちは平和をかみしめてプレーしなければならいし、見てくださる方にも、平和をかみしめて見ていただきたいです。そして、国内外の多くの人に広島と長崎を訪れていただき、歴史を振り返り、平和を感じてもらえるような活動ができればと思っています。

**市長** 私は、「平和」という概



広島市長  
かずみ  
松井 一實

あけましておめでとうございます。2020年が市民の皆さんにとって良い年でありませう、お祈り申し上げます。

※1 男子五輪サッカー競技では、出場できるのは23歳以下という年齢制限が設けられている(24歳以上のオーバーエイジ枠あり)。森保監督は令和2(2020)年開催の東京五輪に向けた日本代表監督であるため、就任当時の平成29(2017)年はU-20代表監督として就任し、その後U-21、U-22、U-23代表監督としてチームの強化に努めている。

